学校番号	3037

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）現代文探究 （文理学科文科）	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「論理国語」（桐原書店）　、「名作を味わう　定番小説選」（数研出版） 「読解を深める現代文単語　評論・小説　改訂版」（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近代以降の様々な文章を読んで読解能力を高めるとともに、表現を通して物の見方、感じ方、考え方を深めることを目標とし、授業を行います。以下の点に留意して、学習に取り組んでください。
・予習として本文を通読し、語句の意味調べや語彙の学習をしておいてください。
・応用問題や課題に対して話し合いや文章記述など、自分自身の思いや考えを他者と共有したり、複数人で解答を考えたりする協働学習を行います。積極的な参加を心がけてください。
・提出物の期限を守り、小テストの勉強はもとより、復習、試験勉強も計画立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活において必要な国語の知識や技能を身につけ、近現代文学に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
近現代の文章に対し、論理的に考える力と共感や想像をふまえて創造的に考える力の両方を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の考えを深めることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言語文化の担い手としての自覚を高め、言葉を通じて積極的に他者や社会と関わり、思いや考えを深めながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会のみならず、生涯にわたる社会生活において必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の近現代文学に対する理解を深めることができるようにしている。	近現代の文章に対して論理的・批判的に考える力と、自分の抱く共感や想像をふまえて創造的に考える力の両方を相互的に養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	二項対立による比較対照に着目し、 評論の読み方に習熟する。 ［教材］オブジェとイマージュ	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。[(1)ウ] b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[(1)ウ] c：イマージュの世界が人間のイマジネーションに訴える力をもっているという筆者の考えについて話し合い、自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	人間の生きる論理を把握し、死と向き合うことをどう扱うべきかについて考える。 ［教材］人間の領域	a：効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。[(1)エ] b[読]：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。[(1)ア] c：筆者の主張を理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、参考資料と重ねて読むことでテーマについての理解を深め、自分自身が生きることの意味について考えている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 ［教材］権力にまつわる「秘密」	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。[(2)ア] b[読]：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。[(1)ア] c：本文内容の理解を踏まえたうえで、国家権力と情報の関係について筆者の主要な見解をわかりやすくまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	接続表現から文脈を捉え、論理の展開や筆者の主要な見解をつかむ。 ［教材］足跡/創造としての本歌取り	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を正しく活用し、情報と情報との関係について理解している。[(1)ア・ウ] b[読]：内容や構成、論理の展開、主張を支える根拠などを的確に捉え、 論点を明確にしながら要旨を把握し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[(1)ア・ウ] c：本文内容の理解を踏まえたうえで、本歌取りと創造についての筆者の主要な見解をわかりやすくまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
二学期	「帰納」や「演繹」など評論特有の考え方に触れ、的確に理解する。 ［教材］身体と出現	a：文や文章の効果的な組み立て方　や接続の仕方について理解し、正しく活用している。[(1)ウ] b[読]：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的　・多角的な視点から評価している。[(1)エ] c：本文の内容を踏まえて、私たちを取り巻くものと身体の関わりについて話し合い、自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

「他者の視点を意識して」小論文を書くための手順を身につける。 ［教材］「書く」ことへの挑戦－小論文を書く	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。［(1)ア］ b[書]：伝えたいことが的確に伝わるように、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえ、読み手の立場から自分の文章の特長や課題を捉え直している。［(1)イ・オ］ c：自分自身の興味や関心のあるテーマから問いを立て、情報を収集し、レポートの構成に沿ってまとめようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
作品設定の意図を考察する。 ［教材］明治の小説／檸檬	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。［(2)ア］ b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。［(1)エ］ c：明治時代の価値観や背景を捉えながら、登場人物の心情を読み取り、人間の普遍的問題を理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
自分自身の興味や関心に沿って、自ら問いを立て、その問いに答えるレポートの書き方を身につける。 ［教材］「書く」ことへの挑戦－レポートを書く	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。［(2)ア］ b[書]：書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。［1(ア)］ c： 自分自身の興味や関心のあるテーマから問いを立て、情報を収集し、レポートの構成に沿ってまとめようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
惜春について、「古今集」と正岡子規との感性の共通点を理解する。 ［教材］「貫之は下手な歌よみ」か？	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。［(1)ウ］ b[読]：書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。［(1)オ］ c:本文の内容を踏まえて、古典和歌の力について話し合い、自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
実用的な文章の基本的な読み方を習得し、志望理由の書き方を身につけるとともに、読む人の心を動かす文章について考える。 ［教材］実用的な文章7 志望理由を書く	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。［(1)ウ］ b[書]：自分の主張が的確に伝わるように、文章の構成や展開、表現の仕方などを整えたり、読み手の立場から、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。［(1)カ］ c：志望理由を書くにあたり、志望先の大学や会社について調べたうえで、自分の志望動機がわかりやすい文章にまとめようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
「沙魚」をめぐる初老の料理人との やりとりを描いた文章を読んで、筆者の思索の推移をたどる。 ［教材］沙魚	a：筋道を立てて考えることを通して理解を深め、内容の解釈を深めている。［(2)ウ］ b[読]：戦争と平和について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。［(1)カ］ c：戦争における加害と被害の両面の歴史を押さえながら、筆者の考えについてどう思うか話し合い、自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

	難解な用語や表現を含む評論文を丁寧に読み解き、筆者の主張を的確に捉える。 [教材]ファンタジー・ワールドの誕生	a:効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。[(1)ウ] b[読]:植民地主義を起点に西欧世界に受け継がれてきたプリミティブなものへの認識の変遷について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。[(1)カ] c:本文内容を踏まえて、筆者の考えについてどう思うか話し合い、自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
三学期	情報技術の発展によって、多様な価 値観を生み出す一方で、強力な管理社会を生み出すという筆者の見解を理解する。 [教材]ポストモダンと排除社会	a:文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。[(1)ウ] b[読]:文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。[(1)エ] c:本文内容を踏まえて、「ポストモダン」における社会と個人の関係についてどう思うか話し合い、自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	「伝統」「国民性」に対する筆者の批判について、理解する。 [教材]日本文化私観	a:効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。[(1)エ] b[読]:主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[(1)ウ] c:本文内容を踏まえて、古い街並み保存と都市開発の優先についてどう思うか話し合い、自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	地図を通して、自分の世界や社会に対するイメージを明確にする。 [教材]地図の想像力―ボードリヤールの寓話	a: 効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。[(1)エ] b[読]:内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。[(1)ア] c:本文内容を踏まえて、自分の帰属する社会だけでなく、広く社会との関わりを意識し、自分の「世界イメージ」としての地図を考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　７５　）時間